

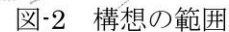
漁村計画は、長期的・総合的に地域の振興の目標を達成するためにどのような施設が必要であるかを体系的に整理するものです。ここでは、各モデル地区の関係者が協議した内容を漁村計画としてとりまとめたものを示しています。

[illegible]

姫島村では、3か所(5 地区)の漁港の他、姫島港も漁業活動に利用している。

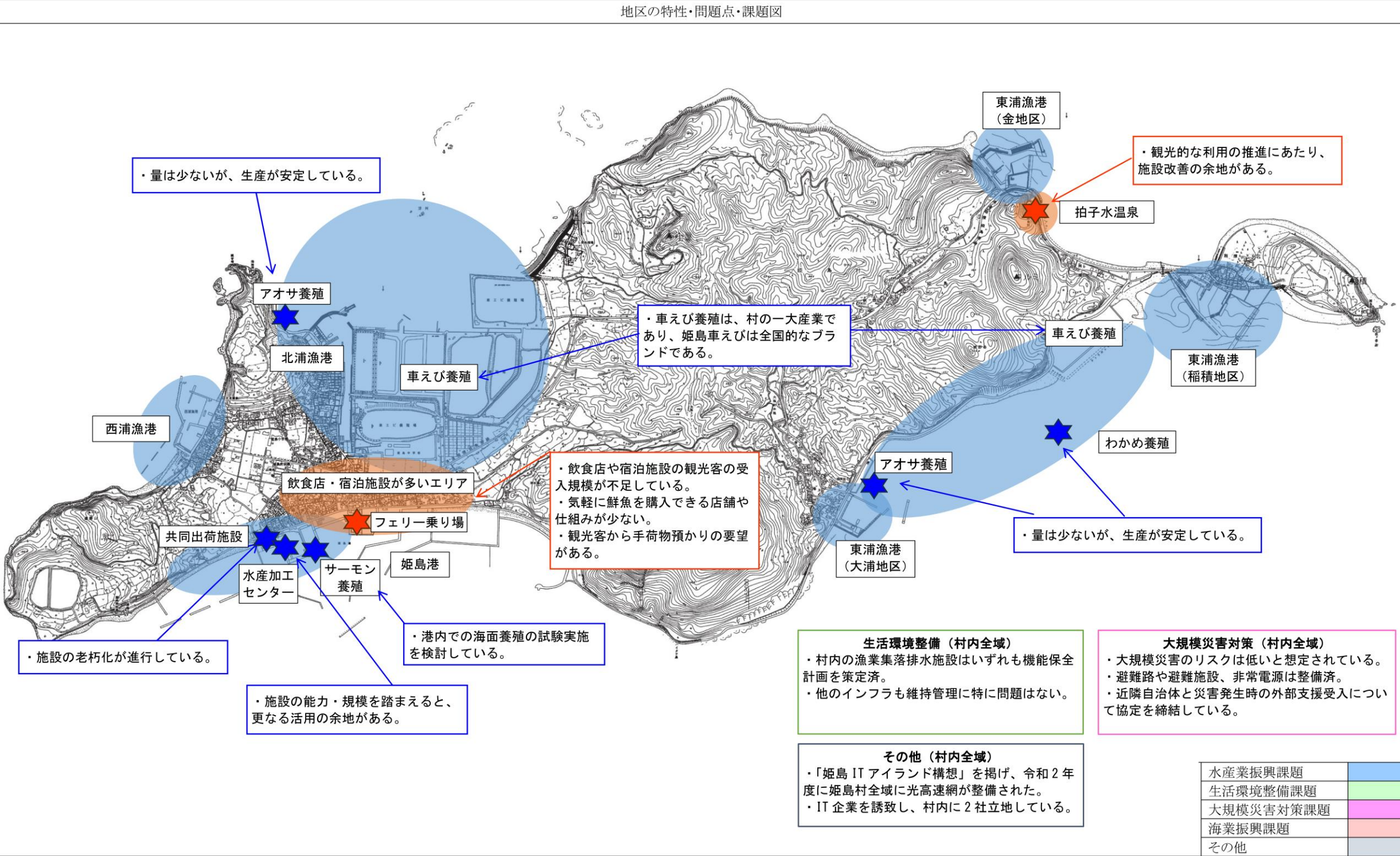
また、海業振興を含む観光業の振興の観点では、歴史、文化、自然に関する様々な観光資源が村内に点在している。

そして、生活環境整備、大規模災害対策の観点でも、地区によって状況の差はないことから、漁港背後集落のみでなく、村全域を構想の策定地域(範囲)とした。

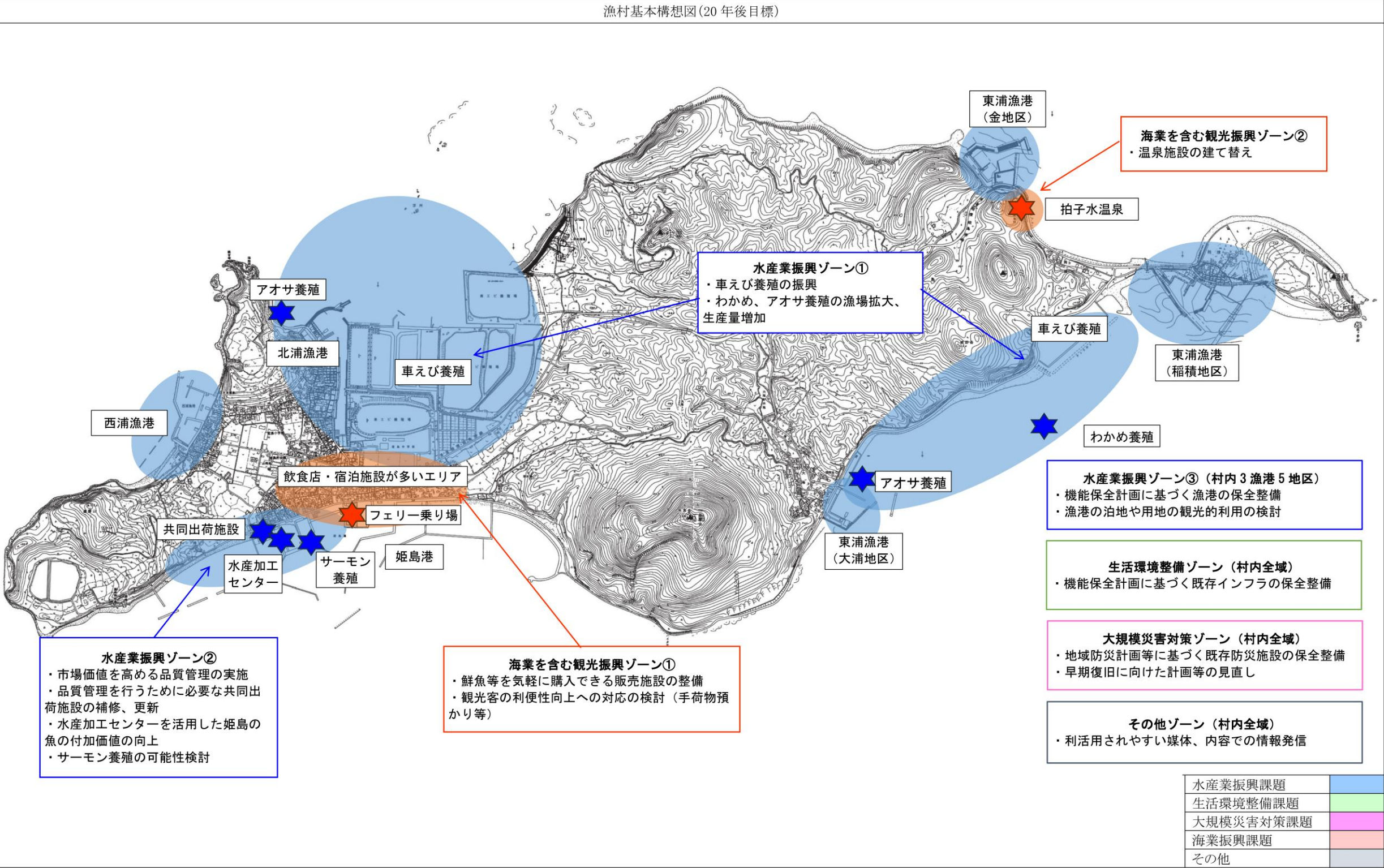
37

都道府県	大分県	地区名	姫島村(全域)地区	策定主体	村、漁協、村内企業、まちづくり組織	策定年度	令和 5 年度(令和 6 年 3 月)	目標年度	令和 25 年度(20 年後)	
4 構 想	4-1. 漁村振興のテーマ		島の漁業、観光業および IT 産業を継続し、未来へ残す							
	4-2. 漁村振興の目標		水産物・水産加工品の付加価値の向上、観光客数増加							
	4-3 個別項目別構想									
	4 4 項 目 別 構 想 ― 方 針	(1) 水産業振興の構想(方針)								
		①車えび養殖の振興、その他養殖業の増大 ・村の一大産業である車えび養殖の振興、量は少ないが生産が安定しているわかめ・アオサ養殖の漁場拡大を含めた生産量の増大および新たなサーモン養殖についての可能性を検討する。								
		②水産物の高品質化と水産物出荷体制の維持 ・養殖車えび以外の水産物においても、漁業者の水産物品質管理技術の向上(水産物の取り扱いのルール化、マニュアル作成、勉強会等)により、水産物の品質の均一化と底上げをし、市場価値を高めた出荷を目指し、村内漁業を持続可能とする。 ・品質管理を行うために必要な姫島港の共同出荷施設について、適切な補修・更新を行い、機能を維持する。								
		③水産加工による地元産水産物の高付加価値化 ・姫島村で揚がった水産物の付加価値を高めて価格を向上させるために、水産加工センターの能力・規模をより活用する仕組みを構築する。 ・島内飲食店及び宿泊施設で提供する魚について、水産加工センターを活用して一次加工を実施し、作業負担の軽減や食品ロスの発生の防止を図る。 ・刺網で揚がった鯛等、一度にまとまった量の確保が可能な魚種についても集中的に加工を行い、冷凍してストックしておく。								
		④漁港機能の維持および漁港の海業への活用 ・村内の3漁港(5 地区)について、機能保全計画に基づき計画的に漁港の機能を維持する。 ・漁業利用の減少した漁港については、将来的に漁業と共存した海業の場としての活用を検討する。								
	4 4 項 目 別 構 想 ― 方 針	(2) 生活環境整備の構想(方針)								
		①既存インフラの適切な保全整備に基づく機能維持 ・上下水道、漁業集落排水施設、道路、公園等の既存インフラは、機能保全計画等の計画に基づいた適切な保全整備により機能維持を図る。								
(3) 大規模災害対策の構想 (方針)										
①既存防災施設の適切な保全整備に基づく 機能維持 ・整備済みの避難路・避難施設等の防災施設について、地域防災計画等の既往計画に基づき、適切に維持することにより、防災力を持続的に確保する。										
②災害発生後の早期復旧・復興体制の構築 ・発災後の迅速な対応に向けた準備として、早期復旧に向けた計画の見直し、体制の構築を推進する。										
4 4 項 目 別 構 想 ― 方 針	(4) 海業振興の構想 (方針)									
	①地域資源の有効活用による観光地としての魅力向上 ・鮮魚等の販売施設の整備や温泉施設の建て替え等、気軽に地域資源に接することができる場の創出により、観光地としての魅力向上を図る。なお、これらは観光客のみならず住民の利用についても対象とする。									
	②観光客の利便性の向上 ・島の玄関口であるフェリー乗り場周辺において、コインロッカー等の手軽に手荷物を預けられる施設等の、観光客から要望の多いサービスについて提供を検討する。									
	(5) その他の構想(方針)									
	①ワーケーションの誘致に向けた情報発信 ・村のネット環境の良さを活かし、ワーケーションによる交流人口の増加に向け、利活用されやすい媒体、内容にて情報発信を行う。									
5. 構想実現に向けての留意事項 ・本漁村計画は、姫島村総合計画(令和 4 年度～令和 13 年度)、姫島村過疎地域持続的発展計画(令和 3 年度～令和 7 年度)、浜の活力再生広域プラン(令和 3 年度～令和 7 年度)等と、計画の地域(範囲)及び期間が重複しているため、これらの計画との整合を図る必要がある。										

1-2. 地区の特性・問題点・課題図



1-3. 漁村基本構想図



2-1. 漁村基本計画面案

都道府県	大分県	地区名	姫島村(全域)地区	策定主体	村、漁協、村内企業、まちづくり組織			策定年度	令和5年度(令和6年3月)	目標年度	令和15年度(10年後)
1-1.漁村構想のテーマ		島の漁業、観光業およびIT産業を継続し、未来へ残す				1-2.漁村構想の目標		水産物・水産加工品の付加価値の向上、観光客数増加			
2	2-1.基本計画の目標・方針										
漁村基本計画	姫島村の沿岸漁業には、漁協による共同出荷と漁業者個人による外売りという二つの出荷制度がある。共同出荷では、魚の品質管理が均一化されておらず、品質の良い魚をまとまった量で出荷できないことや、使用している施設の老朽化が著しいといった問題がある。										
基本計画	また、姫島村の観光業の振興にあたっては、飲食店、宿泊施設等では、魚の下拵えが負担となっていることや、観光客、飲食・宿泊事業者が、鮮魚を気軽に購入可能な店舗が少ないといった問題がある、また、既存の温浴施設について、観光的な利用を検討する余地がある。										
計画	そこで、10年後を想定した漁村基本計画では、「漁業の継続のための共同出荷体制の維持」、「観光業の継続のための観光客の要望への対応」を目標とし、これらに対応するハード整備と関連するソフト対策や留意事項を、下表のとおり取りまとめる。										
2-2.個別項目別基本計画と構想との関連等											
項 目	基本計画種目	概略数量	施設整備の概要・方針等	実現化ロードマップ・イメージ							
				前期 (1～3年)	中期 (4～6年)	後期 (7年～)	留意事項				
① 水産振興 基本計画	サーモン養殖	1式	サーモン養殖の試験を実施し、可能性を検討する。	調査・計画	調査・計画	調査・計画	大分県等の関連団体と連携して検討を進める。				
	共同出荷施設	1棟	老朽化が著しい建屋の改修、活魚水槽等の検討・整備を行う。	調査・計画	○		水産物の品質向上には、施設整備だけでなく、ソフト対策も重要であることから、出荷受入に係る漁協と漁業者との協議や、水産物の取り扱いのルール化、マニュアルの作成、勉強会等を並行して行い、漁業者全体の水産物の品質向上に向けた意識の共有化を十分に図る。				
	漁港施設	3漁港 (5地区)	漁港機能保全計画に基づき、計画的な保全整備を図る。	既往計画に準拠する。			漁業利用の減少した漁港については、海業の場としての活用についても検討する。				
② 生活環境整備 基本計画	特になし	—	—	—			—				
③ 大規模災害対策 基本計画	特になし	—	—	—			—				
④ 海業振興 基本計画	水産物販売施設	1棟	村で水揚げされた水産物及びその加工品(フィレ等一次加工品を含む)を販売する施設の検討・整備を行う。	調査・計画	調査・計画	○	観光客以外にも、村民、飲食店・宿泊施設事業者の利用を想定し、施設に必要な機能や、取り扱う商品を検討する。				
	温浴施設	1棟	施設の建て替えを行う。	調査・計画	○		—				
⑤ その他 基本計画	特になし	—	—	—			—				
3. 基本計画実現のための課題											
姫島村における基本計画の実現のための課題として、施設整備を伴わないソフト対策の内容を以下に示す。											
①水産業振興と海業振興に係る計画として、姫島村で揚げた水産物の付加価値を高めて価格を向上させるために、水産加工センターの能力・規模をより活用する仕組みを構築する。また、島内飲食店及び宿泊施設で提供する魚について、水産加工センターを活用して一次加工を実施し、作業負担の軽減や食品ロスの発生の防止を図る。											
②大規模災害対策に係る計画として、発災後の迅速な対応に向けた準備のため、早期復旧に向けた計画の見直し、体制の構築を推進する。											
③その他に係る計画として、ワーケーションでの来訪希望者に対し、滞在プランの提案ワークスペース、宿泊、飲食、アクティビティ、移動手段等のコーディネートを実施するため、先進地の視察等により、知見を収集するとともに、村内の関係事業者との連携を図るための体制を構築する。											

注 1: 基本計画種目は、全ての項目にまたがる必要はなく、「漁村構想」を踏まえた「漁村基本計画」として必要な計画種目を地域の実情から抽出・整理したものである
注 2: 実現化ロードマップ・イメージ欄は対象となる基本計画に着手する時期について該当する欄に○をつけるとともに、スケジュール上の留意事項を記述する

2-2. 漁村基本計画図案

漁村基本計画図(10年後目標)



水産業振興課題	
生活環境整備課題	
大規模災害対策課題	
海業振興課題	
その他	